

発育改善で黒毛和牛の出荷月齢を2ヵ月短縮

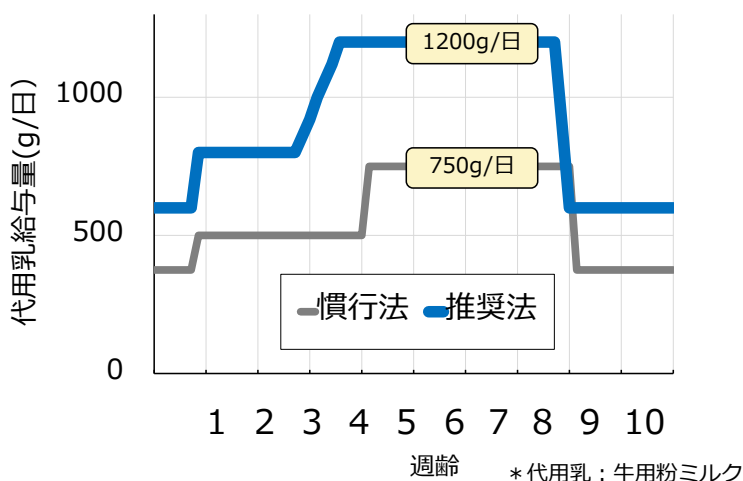
概要 Abstract

- 1) 推奨給与プログラムで哺育期から発育が改善します、
出荷月齢を2ヵ月短縮でき、枝肉成績は慣行肥育と同等です。
- 2) 出荷月齢短縮により濃厚飼料は550kgの低減が可能です。
収益性が改善します。

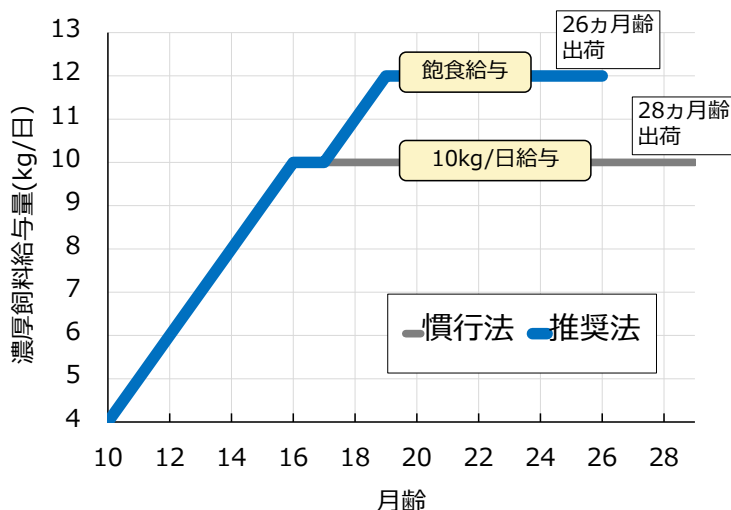


脂肪交雑最高ランク(BMS No12)の牛肉が26ヵ月齢出荷で生産されました。

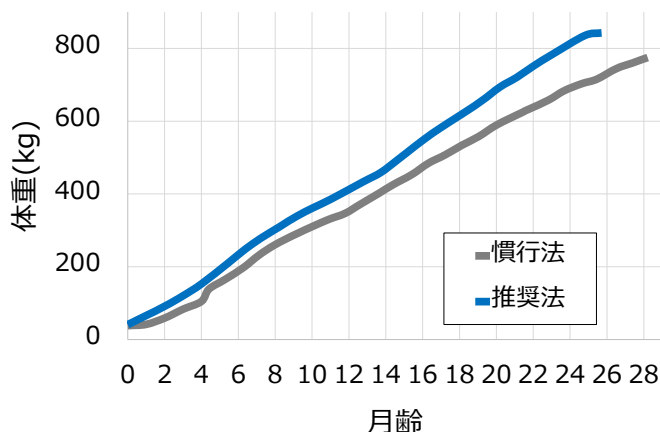
成果 Results



哺育期の代用乳推奨給与プログラム



肥育期の濃厚飼料推奨給与プログラム



体重の推移

枝肉成績と収益性

	慣行法	推奨法
出荷月齢	28.7	26.2
枝肉重量 (kg)	484	538
BMS No.	9.6	8.5
枝肉価格 (万円/頭)	131	146
収益性 (万円/頭)	89	103

* BMS No.: 脂肪交雑の基準 (1~12) No.8以上が5等級
* 収益性: 枝肉価格 - 飼料費

普及 Dissemination

出荷月齢の早期化による収益性の向上を目指す経営で活用します。

連絡先 Contact

畜産試験場
肉牛研究部 肉牛グループ
0156-65-0610
aminal-agri@hro.or.jp